

## 施設計画

【No. 1】大規模小売店舗立地法に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 対象となる大型店は、店舗面積が1000 m<sup>2</sup>を超えるものである
2. 広範な住民の意思表示の機会を確保しなければならない
3. 本法の運用は、大型店が設置される場所の都道府県、政令都市である
4. 駐車・駐輪台数は設置者が必要な台数を決定することができる

〔解説〕 駐車・駐輪台数は調整対象項目である。

答. 4

【No. 2】地域、周辺環境の計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 周辺地域で景観整備が行われている場合でも事業計画を変更しなくてよい
2. 廃棄物処理やリサイクルの推進を行うときは近隣住民への情報提供を推進していくことは重要である
3. アクセスを車だけに頼らず多様な交通手段を検討し交通渋滞を避けるよう工夫すべきである
4. 遮蔽障害、反射障害の発生に対して共聴設備など適切な対策まですべきである

〔解説〕 周辺地域で景観整備が行われている場合、その趣旨に沿うような施設配置を配慮すべきである。

答. 1

【No. 3】小規模店舗に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 飲食店の1日の売上高は、〔客単価×客席数×客席率×メニュー数〕により求められる
2. 商品分析とは、商品の機能・品質・デザイン・包装・価格について消費者の要求に適合しているかを調べることである
3. マーチャンダイジング計画とは、販売計画のことで商品化したものをいかに商品構成してどのような販売形態をとるかである
4. 店舗の販売形態には、対面販売、側面販売、実演販売、セルフセレクションなどがある

## 施設計画

〔解説〕 客単価×客席数×客席率×回転率

答. 1

---

【No. 4】 伝熱に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 熱貫流率は、壁体の高温側から低温側への熱の流れやすさを示す値である
2. 熱貫流率の単位は、 $W/(m \cdot K)$ である
3. 木材の熱伝導率は、普通コンクリートの熱伝導率より小さい
4. 中空層の断熱効果は、厚さ 2 cm 程度が最も高い

答. 2

---

【No. 5】 建築計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 集合住宅では、中廊下型より階段室型の方が日照、通風、プライバシーの点で秀れている
2. 事務所建築では、設備部分や交通部分をできるだけまとめた方が効率的である
3. ビジネスホテルでは、客室はシングルルームが中心でその面積は1室当り 15 m<sup>2</sup>前後が多い
4. 百貨店建築では、エスカレーターを非常時の避難路として活用することが多い

〔解説〕 エスカレーターを避難用の階段として利用するのは危険

答. 4

---

【No. 6】 建築物の内装制限に関する次の記述のうち、建築基準法上、誤っているものはどれか。

1. 不燃材料は、内装制限を受けるすべての部分の仕上げに使用できる
2. 地階にある居室や廊下の壁・天井は、準不燃以上の内装制限を受ける
3. 自動式のスプリンクラー設備を設けた部分は、内装制限を受けない

## 施設計画

4. 床および床上 1.2m以下の壁の部分は、内装制限を受けない

〔解説〕 スプリンクラー設備+排煙設備が条件

答. 3

---

〔No. 7〕 建築構造に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 構造物の基礎は原則として硬い地盤に支持させることが望ましい
2. RC造はラーメン式構造よりも壁式構造のような一体式構造にする方が本質的に合っている
3. 構造の平面計画では建築物の剛心（強さの重心）と荷重の重心はできるだけ離して計画する
4. 建築基準法により、主要構造部を木造とする建築物は、延べ面積 3000 m<sup>2</sup>以下である

〔解説〕 剛心と重心は極端にかけ離れないように計算する。

答. 3

---

〔No. 8〕 構造材に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 日本農林規格（JAS）による集成材には造作用、構造用、構造用大断面集成材などがある
2. 鋼のヤング係数とは応力の単位で（応力度÷歪み度）で表し、弾性係数とも言う
3. コンクリートの強度は水セメント比（セメントの重量÷水の重量）によって決まる
4. 木材の縦断面に見られる年輪の模様を木理（もくり）といい、柾目（まさめ）、板目（いため）、柵目（もくめ）がある

〔解説〕 水セメント比とは水の重量÷セメントの重量である。

答. 3

---

〔No. 9〕 電気設備に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

## 施設計画

1. 交流電圧の種別のうち、「低圧」とは、1000V以下のものをいう
2. キュービクル式受変電設備とは、工場組立のユニットによる閉鎖型のことである
3. 100V 単相 2 線式は、住宅や小規模ビルの電灯、コンセントに用いられる
4. フロアダクト配線方式は、一般のコンセント用配線に使用される

答. 1

---

【No.10】 照明に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. K (ケルビン) は色温度を表わし、数値が低いほど暖かい感じになる
2. R a (アールエー) は演色性を表わし、数値が低いほど物のはっきりと見える
3. L m (ルーメン) は光束を表わし、数値が高いほど明るさが増す
4. L x (ルクス) は照度を表わし、数値が高いほど明るさが増す

〔解説〕 演色性の数値が低いと物のはっきりと見えない。

答. 2

---

【No.11】 残響に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 最適残響時間は、講演などの話を主とする部屋より、音楽に使用する部屋のほうが長い
2. 残響時間とは、音源が停止してから室内の音の強さのレベルが、60 dB 低下するまでの時間をいう
3. 天井や壁の吸音力を大きくすると、残響時間は長くなる
4. 室容積を大きくすると、残響時間は長くなる

答. 3

---

【No.12】 サイン計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

## 施設計画

1. ピクトグラムとは、伝達情報を図案＝表意記号に置き換えたものである
2. サインはその表示が 1 つの伝達情報を記しているのに対して、シンボルは別の意味を喚起・連想させる機能がある
3. サインの自家発光方式は、高輝度の光源により構成されている
4. サイン計画は施設・店舗計画の補助・補完的業務なので専門業者に任せるほうが良い

〔解説〕サイン計画は施設・店舗計画の補助・補完的業務ではなく建築などと一体的に計画するほうが良い。

答. 4

---

【No.13】設計に当たっての留意事項に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. LCAとはライフサイクルアセスメントのことで、環境に与える負荷の低減を目指している
2. LCCとはライフサイクルコストのことで、建設から廃棄に至るまでの総費用を意味する
3. LCAの観点からは、将来のリニューアルに配慮した建物の長寿命化が求められる
4. LCCに関して、一般に建設後の運用管理費は、建設費とほぼ同額の費用を必要とする

〔解説〕建設費の数倍の費用が必要

答. 4

---

【No.14】わが国の CO<sub>2</sub>排出量のうち、建築関連から出ている割合として、最も適当なものは次のうちどれか。

1. 約 1 / 2
2. 約 1 / 3
3. 約 1 / 4
4. 約 1 / 5

答. 2

【No.15】市場と施設計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. カーブや折れ曲がった動線は、見通しが利かなくなり、楽しみや期待感が半減する
2. 声や音、匂い、光など様々な事がらを見直し、施設計画に反映させることは、消費者の回遊・滞留を促す重要な要素である
3. 街が持つ様々な魅力を繋げることは街の中で商業が担う重要な役割である
4. 設計者や管理者の意図に反して、施設の利用者や運営者によって自然に持ち込まれた機能を二次的用途と呼ぶ

〔解説〕カーブや折れ曲がった動線は、楽しみが見え隠れすることで人々の期待感をそそる効果がある。

答. 1